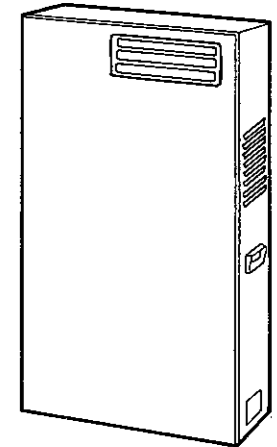
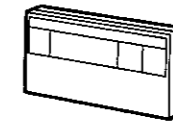


ナショナルガス給湯機付ふろがま

屋外用
品番 GU-16R3R
GU-16R4R

取扱説明書

(工事説明書別添)



正しく使って上手に節約

■この説明書と別添の「工事説明書」「保証書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

保証書別添

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

便利メモ おぼえのため、記入されると便利です。

お買い上げ年月日	年	月	日	品番
お買い上げ販売店名	電話	()		—
最寄りのご相談窓口	電話	()		—

松下電器産業株式会社
松下住設機器株式会社 給湯システム事業部
〒639-11 奈良県大和郡山市筒井町800番地
電話 大和郡山 (07435) —6—1121 (大代表)

も く じ ページ

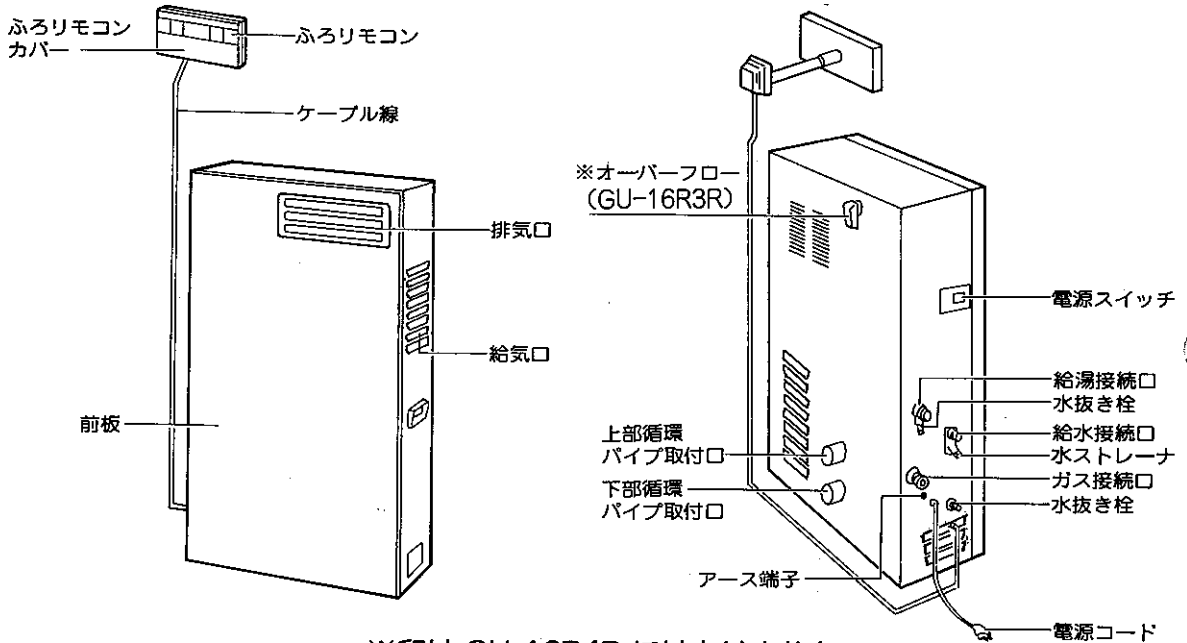
各部の名称	1
特に注意していただきたいこと	3
器具の設置及び付帯工事	5
器具の使用方法	6
器具の上手な使い方	14
冬期の凍結による破損防止について	14
日常の点検・手入れ	16
故障・異常の見分け方と処置方法	17
仕様	19
長期間使用しない場合	20
アフターサービス	20

このたびはナショナルガス給湯機付ふろがまをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

各部の名称

■外観

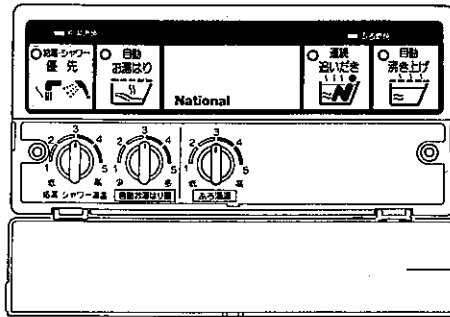
●GU-16R3R・GU-16R4R



ふろリモコン

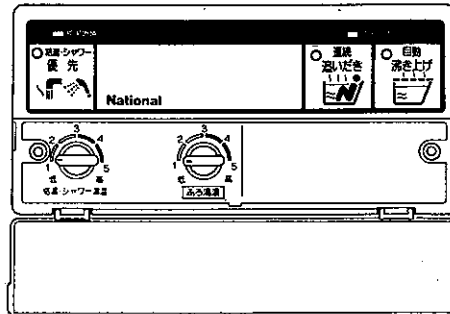
※印は GU-16R4R にはありません。

GU-16R3R用



ふろリモコンカバー

GU-16R4R用

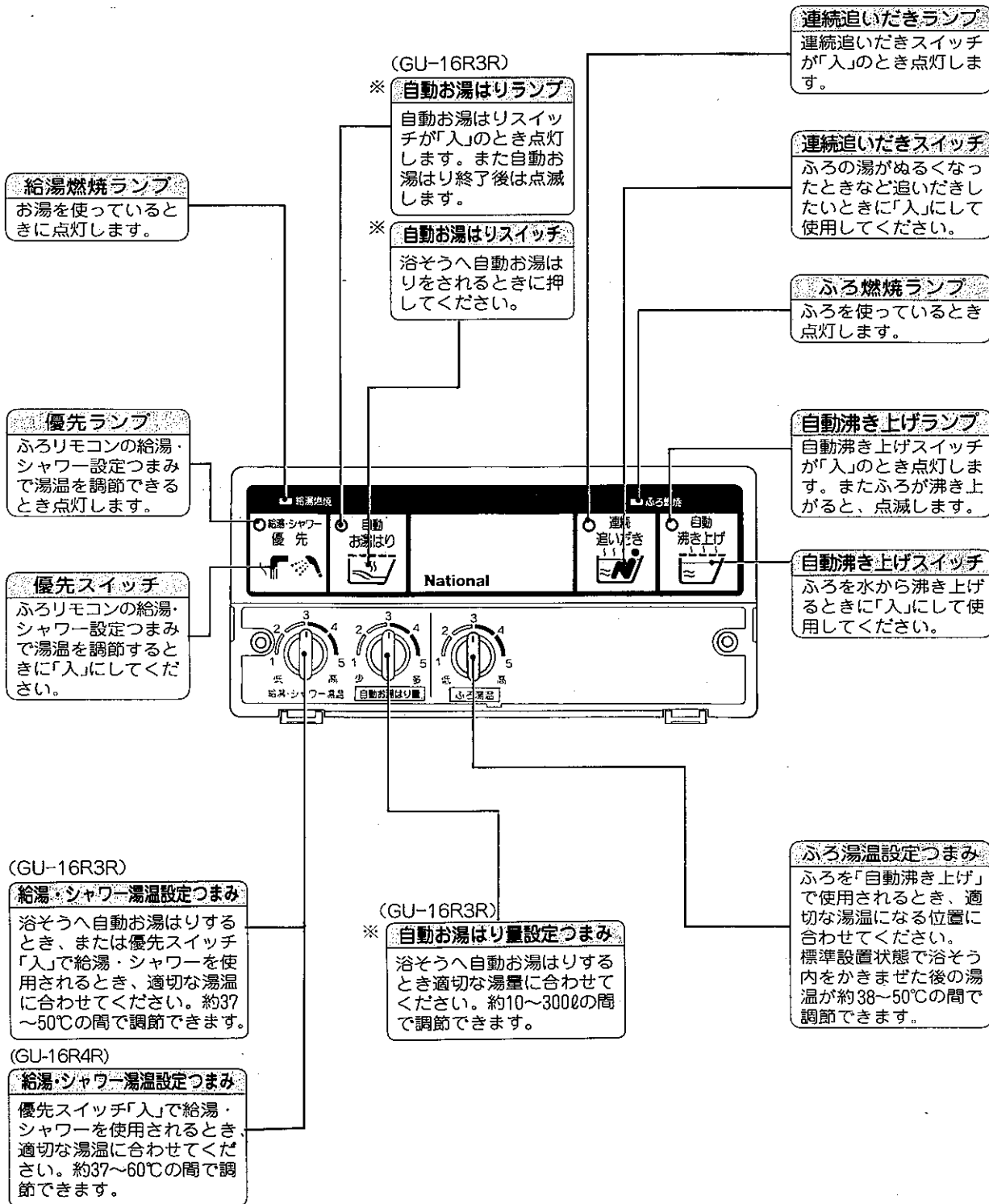


各部の名称

以後のページの参考として、このページは開いてお使いいただくと便利です。



ふろリモコン



連続追いだきランプ
連続追いだきスイッチが「入」のとき点灯します。

連続追いだきスイッチ
ふろの湯がぬるくなったときなど追いだきたいときに「入」にして使用してください。

ふろ燃焼ランプ
ふろを使っているとき点灯します。

自動沸き上げランプ
自動沸き上げスイッチが「入」のとき点灯します。またふろが沸き上がると、点滅します。

自動沸き上げスイッチ
ふろを水から沸き上げるときに「入」にして使用してください。

ふろ湯温設定つまみ
ふろを「自動沸き上げ」で使用されるとき、適切な湯温になる位置に合わせてください。標準設置状態で浴室内をかきませた後の湯温が約38～50℃の間で調節できます。

(GU-16R3R)
※ **自動お湯はりランプ**
自動お湯はりスイッチが「入」のとき点灯します。また自動お湯はり終了後は点滅します。

※ **自動お湯はりスイッチ**
浴そうへ自動お湯ほりをされるときに押してください。

給湯燃焼ランプ
お湯を使っているときに点灯します。

優先ランプ
ふろリモコンの給湯・シャワー設定つまみで湯温を調節するとき点灯します。

優先スイッチ
ふろリモコンの給湯・シャワー設定つまみで湯温を調節するときに「入」にしてください。

(GU-16R3R)
給湯・シャワー湯温設定つまみ
浴そうへ自動お湯はりするとき、または優先スイッチ「入」で給湯・シャワーを使用されるとき、適切な湯温に合わせてください。約37～50℃の間で調節できます。

(GU-16R3R)
※ **自動お湯はり量設定つまみ**
浴そうへ自動お湯はりするとき適切な湯量に合わせてください。約10～300ℓの間で調節できます。

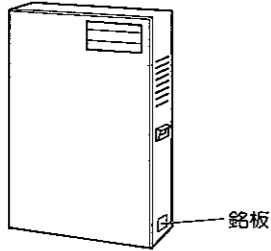
(GU-16R4R)
給湯・シャワー湯温設定つまみ
優先スイッチ「入」で給湯・シャワーを使用されるとき、適切な湯温に合わせてください。約37～60℃の間で調節できます。

※印はGU-16R4Rにはありません。

特に注意していただきたいこと

■使用ガス・使用電源についてのご注意

- 器体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）・電源（電圧・周波数）以外では使用しないでください。



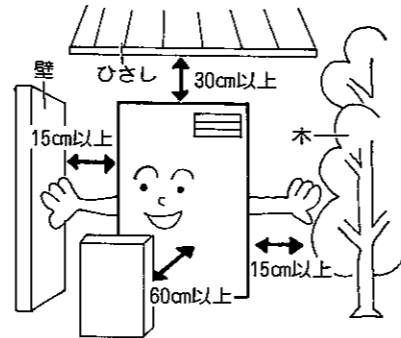
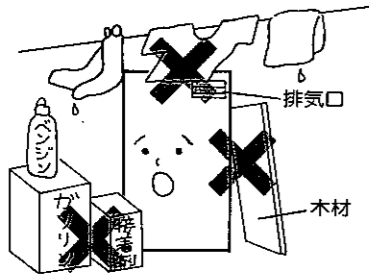
【注】この部分を必ずご確認ください。

【LPガス用銘板】		【都市ガス用銘板】	
ガスふろがま		ガスバーナ付ふろがま	
型式名	GF-GU-1BR3R	型式名	GN-1BR3R
銘板名	GF-GU-1BR3R用	銘板名	GN-1BR3R用
ガス消費量	最大 ふろ	ガス区分	12A
設置方式	屋外用	ガス消費量	最大 ふろ
使用電源	AC100V.50Hz. W AC100V.60Hz. W	使用電源	AC100V.50Hz. W AC100V.60Hz. W
設置方式	屋外用	設置方式	屋外用
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社		松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社	
凍結予防ヒータ作動時 W		凍結予防ヒータ作動時 W	

ガスの種類	LPガス
都市ガス (ガスグループ)	4A・4B・4C 5A・5AN・5B・5C 6A・6B・6C・7C 12A・13A

■火災予防

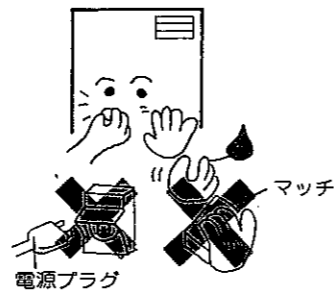
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
特に排気口は洗たく物などでおおわないでください。
- 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。



- 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。

■ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確かめてください。
- 使用後はふろリモコンのスイッチを「切」にし、お出かけのときや、お寝みの際には、ガス元栓も必ず閉めてください。
- ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめ、器具左側の電源スイッチを切り、ガス元栓を閉じ、お求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。
- 万一ガスが漏れたときは、すべての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。



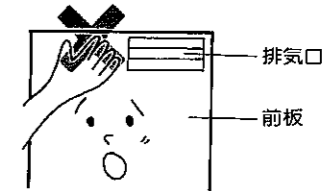
■使用上のご注意

(1)用途についてのご注意

台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追いだし以外の用途には使用しないでください。

(2)市販の補助用具使用についてのご注意

- この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。
(不完全燃焼などの原因になります。)
- 市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーユニットなどを取り付けて使用しないでください。
(器具の異常過熱などの原因になります。)



(3)火傷にご注意

使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

(4)雷時の注意

激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

(5)健浴剤や洗剤についてのご注意

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

(6)飲用にお使いのときは

器内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

(7)過熱防止

- ふろがまで沸かすときには、浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。
(空だきは器具の寿命をいちじるしく短くしたり、浴そうをいためたりします。)
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。

(8)給湯中の湯温についてのご注意

給湯中に他の場所(シャワーを使用中に台所・洗面所など)で、給湯栓または給水栓を開け閉めしますと、熱い湯が出たり、ぬるい湯が出たりすることがありますのでご注意ください。特にシャワー使用中の同時使用はさけてください。

■凍結にご注意

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。

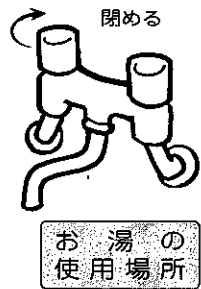
詳しくは、14～15ページの「冬期の凍結による破損防止について」をお読みください。

特に注意していただきたいこと

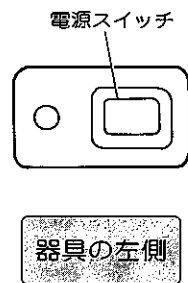
■異常時の処置

万一、異常燃焼、臭気、異常音などが感じられたときや、(地震、火災など)緊急の場合は、あわてずに下図の処置をし、お求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

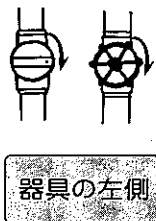
1. 給湯栓を閉める。



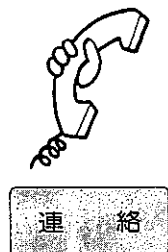
2. 電源スイッチを切る。



3. 給水元栓・ガス元栓を閉める。



4. 販売店またはガス供給業者へ連絡する。



器具の設置及び付帯工事

- 器具の設置・移動及び付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。
- アースの接続を確かめてください。(詳しくは工事説明書14ページ参照)

器具の使用方式

■ご使用前の準備と確認

1. 給水元栓を全開にしてください。



2. 給湯栓を開け、水の出ることを確認してから開めてください。



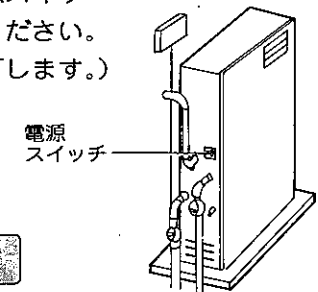
3. ガス元栓を全開にしてください。



4. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



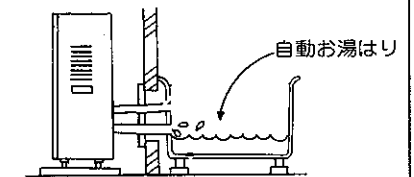
5. 器具の左側の電源スイッチを「入」にしてください。(電源ランプが点灯します。)



■操作のしかた

自動お湯はりのしかた (GU-16R3Rのみ)

ふろ(浴そう)へ自動的に給湯するときに使います。



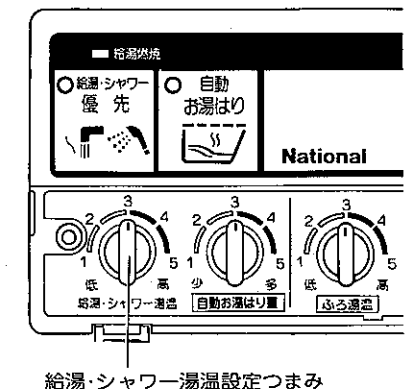
■点火

①自動お湯はり温度の設定をします

ふろリモコンのカバーを開け、給湯・シャワー湯温設定つまみを適切な湯温に合わせてください。約37~50°Cの範囲で調節できます。

●自動お湯はり時のご注意

(注)冬期の水温が低い時、水圧の高い所では自動お湯はり湯温が、設定温度に達しないことがあります。このような場合は自動沸き上げ、または連続追いだきをして、お好みの湯温にしてください。



給湯・シャワー湯温設定つまみ

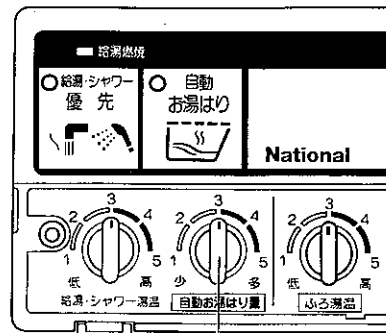
器具の使用法

②自動お湯はり湯量の設定をします

自動お湯はり量設定つまみを適切な湯量に合わせてください。約10~300ℓの範囲で調節ができます。

ご注意

- 使用途中の停電後の再使用時や浴そうに残水がある場合は、その水量分を見込んで少なめの設定をしてください。
(設定が多過ぎると浴そうからあふれることがあります。)



自動お湯はり量設定つまみ

③浴そうの排水栓をきちんと入れます

④浴そうのフタをします

⑤自動お湯はりスイッチを「入」にします

バーナに点火し浴そうの中へ湯が出てきます。

(自動お湯はりランプ(緑)と給湯燃烧ランプ(赤)が点灯します。)

(注)給湯燃烧ランプが7秒すぎてもつかない[給湯燃烧ランプ(赤)が点滅してブザーが鳴る]場合には、自動お湯はりスイッチを「切」にした後、再度「入」にする操作を繰返してください。

- 設定した湯量が給湯されると、自動的に燃焼が止まり、給湯燃烧ランプが消灯し、ブザーが鳴ります(約8秒)。同時に自動お湯はりランプ(緑)が点滅をはじめます。

ご注意

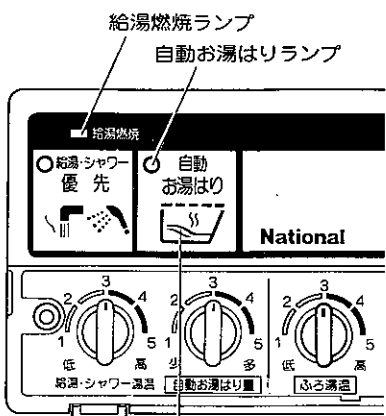
- 自動お湯はり中に他の給湯栓を開けますとそこでの使用量だけ浴そうの湯量が少なくなります。
- 自動お湯はり中に自動お湯はりスイッチを「切」にし、再度「入」にすると「入」の時点からもとの設定量の湯が給湯されますのであふれることがあります。

使用後は

⑥自動お湯はりスイッチを「切」にします

自動お湯はりランプ(緑)の点滅がとまります。

(注)使いはじめや、長期間使用しなかった後などには「自動お湯はり」のはじめに、浴そうへ湯アカが出てくる場合があります。



自動お湯はりスイッチ

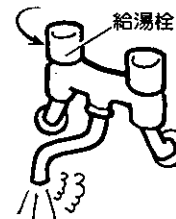
給湯操作のしかた

■点火

①給湯栓を開けます

バーナに点火し、お湯が出ます。

(点火と同時に、給湯燃烧ランプ(赤)が点灯します。)

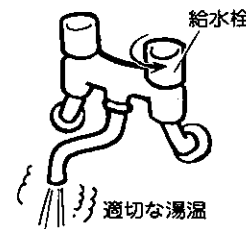


(注)この器具はふろリモコンの優先スイッチが「切」のときは高温出湯タイプ(約60℃)になっていますので、必ず混合水栓で湯温を調節してご使用ください。

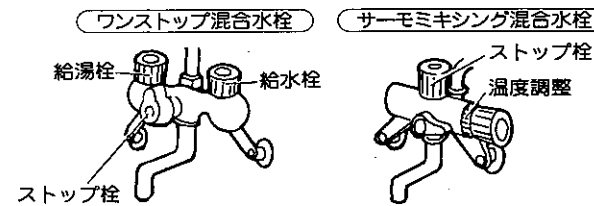
ふろリモコンの優先スイッチが「入」のときはふろリモコンで設定された湯温となっています。(次頁参照)

②混合水栓で湯温を調節します

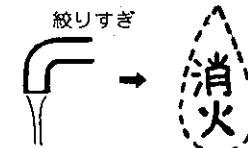
給水栓を徐々に開き、適切な出湯温度になるように調節してください。



- 混合水栓にはいろいろな種類がありますが右図のようなタイプが使いやすいのでおすすめします。(ストップ栓を開くだけでセットされた温度の湯が出てきます)



- 給湯栓を絞りすぎると(約3ℓ/分以下)バーナの火が消えるようになっています。



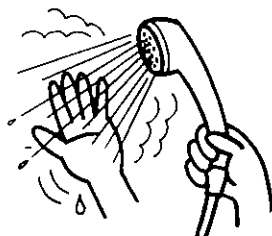
- 自動お湯はり中に給湯栓を開けると自動お湯はり温度の湯が出ます(自動お湯はり優先)。またその時の湯量は少なくなります。
- 湯量を絞ったとき水の中の空気が分離して気ほうとなり、湯が白くなる場合がありますが、空気ですので何ら心配はありません。

器具の使用方法

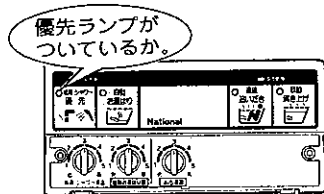
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

- 2ヵ所で同時使用されると、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。

(シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出る場合がありますのでご注意ください。)



ふろリモコンの優先スイッチが「入」のとき、給湯・シャワー湯温設定つまみで給湯・シャワー湯温を約37~50℃(GU-16R3R)・37~60℃(GU-16R4R)に調節できます。シャワーご使用時に便利です。



(注)優先スイッチ「入」の状態、シャワーをご使用の場合は、優先ランプが点灯していることを確認してからご使用ください。また使用中も時々優先ランプがついていることを確かめてください。

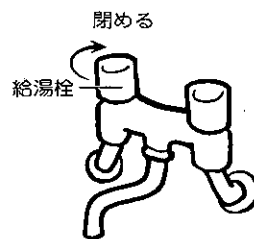
(優先ランプが消灯しているときは、高温出湯となっていますのでご注意ください。)

- 冬期など水温が低い時、高温がとれない場合は、給湯栓を絞ってお使いください。

■消火

③給湯栓を閉めます

バーナが消火し、給湯燃焼ランプ(赤)が消灯します。



- ワンストップ混合水栓やサーモミキシング混合水栓タイプの場合はストップ栓を閉めると消火します。

- バーナ消火後、約7分間は燃焼用送風機は運転状態になっています。

これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。

(約7分経過後、自動的に燃焼用送風機の運転が止まります。)

ソーラシステムと接続している(GU-16R4R)場合

- 夏期には入水温度が50℃を超えることがあります。50℃以下のお湯を使用されるとき(シャワー・台所・洗面・洗濯など)は本体側面の電源スイッチを「切」にして混合水栓で湯温を調節してお使いください。

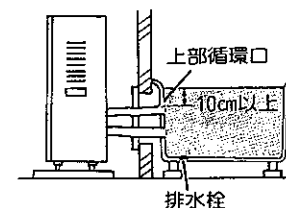
- 入水温度が60℃を超えますと、沸騰防止装置(入水温ハイカット)が働き自動的に燃焼をストップします。この安全装置は自動的に復帰します。



ふろ操作のしかた

①浴そうに水(または湯)を入れます

- 排水栓がきちんと入っていることを確かめ、水(または湯)を入れます。
- 給水量はできるだけ、いつも同じ量にしてください。



②浴そうのふたをします

〈自動沸き上げ操作のしかた〉

浴そうに水(または湯)があるときの沸き上げに使用します。

■点火

①ふろ湯温の設定をします

ふろリモコンのカバーを開け、ふろ湯温設定つまみを適切な位置に合わせてください。

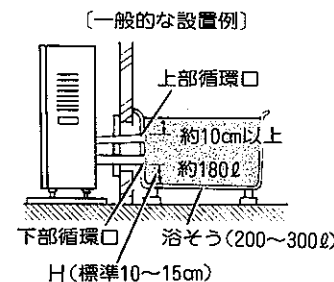


沸き上げてかきませた後の平均湯温が約38~50℃の範囲で調節できます。

- ふろ湯温設定つまみの位置の目安(約42℃に沸き上げるための目安)

H寸法(cm)	位置の目安
5~10	「2」前後
標準 10~15	「3」前後
10~20	「4」前後

(注)給湯・シャワー湯温等は、つまみを一旦「5」の位置に回してから目安に合わせてください。



- ふろ湯温設定は「3」でかきませた後適温に沸き上がるように調整してありますが水温・水量・施工状態により沸き上がり温度は多少変化します。

- 上表の数値で一度運転し、熱いときは「低」へぬるいときは「高」へ少しつまみをずらし、翌日再度試してください。

- 季節により多少湯温が変わりますので必要に応じてふろ湯温設定つまみで調節してください。

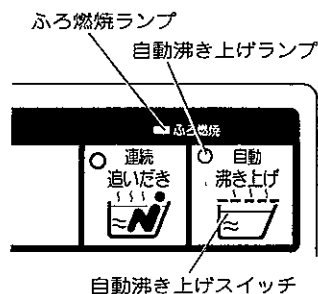
(注)前日の湯を再び利用される場合や、給湯機からの落とし込み、又は夏場の水温が高い場合、自動沸き上げスイッチを「入」にしたとき、ふろ湯温設定つまみ1、2で自動沸き上げが入らない場合があります。このような場合は、連続追いきスイッチを「入」にするか、ふろ湯温設定つまみを「高」へ少しまわして沸き上げてください。

器具の使用法

②自動沸き上げスイッチを「入」にします

バーナに点火し、沸き上げをはじめます。
〔自動沸き上げランプ(緑)とふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します。〕

- 沸き上げが終了すると、自動的に燃焼が止まり、ふろ燃焼ランプが消灯し、約3分後にブザーが鳴ります。(約8秒)
同時に自動沸き上げランプ(緑)が点滅をはじめます。



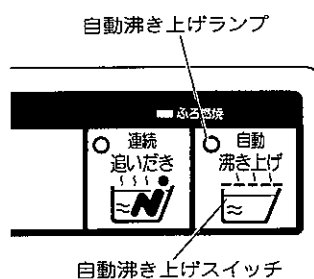
(注)

- 入浴されるときには自動沸き上げスイッチを「切」にし、必ず浴そうの湯をかきまぜ、湯温を確かめてください。
- 浴そう内の水温が高い場合は、自動沸き上げスイッチを「入」にしたとき、ふろ燃焼ランプが点灯と消灯を繰り返し、沸き上がるまでに時間がかかったり、「1」「2」の設定では点火しないことがあります。(沸き上げ途中でふろ燃焼ランプが消灯しているときは、湯温検出中で異常ではありません)このような場合は、連続追いだきスイッチを「入」にするか、ふろ湯温設定つまみを「高」へ少しまわして沸き上げてください。
- 途中で消火したいときは、自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。

使用後は

③自動沸き上げスイッチを「切」にしてください

自動沸き上げランプ(緑)の点滅が消灯します。



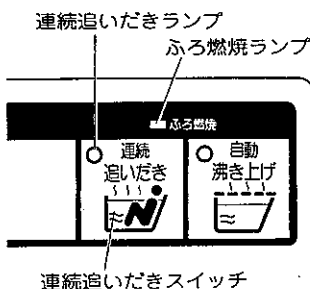
〈連続追いだき操作のしかた〉

入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。

■点火

①連続追いだきスイッチを「入」にします

バーナに点火し追いだきをはじめます。
〔連続追いだきランプ(緑)とふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します。〕



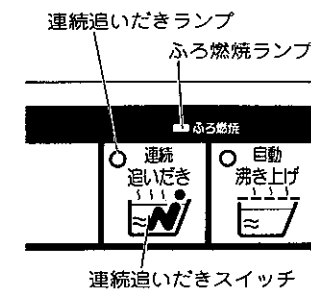
(注)

- 浴そうの上部循環口より10cm以上水(または湯)が入っていることを確認してから操作してください。
- 入浴時は必ず浴そうの湯をかきまぜ湯温を確かめてください。

■消火

②連続追いだきスイッチを「切」にします

バーナが消火し、ふろ燃焼ランプ(赤)、連続追いだきランプ(緑)が消灯します。



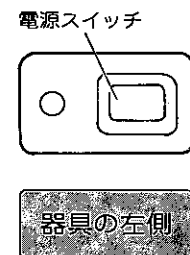
(注)

- 連続追いだきの場合は、沸き上げ検知しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。
- 自動沸き上げスイッチ・連続追いだきスイッチを「入」にした後、約7秒たってもふろ燃焼ランプ(赤)が点灯しない場合(ふろ燃焼ランプが点滅してブザーが鳴る)は、各々操作したスイッチを一度「切」にし再操作をしてください。
- 「自動お湯はり」使用中は「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の操作をされてもスイッチが入らないようになっています。(GU-16R3R)
- 給湯栓でお湯を使っているときの「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の使用はできません。

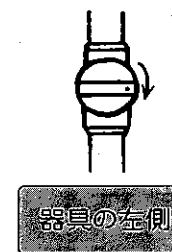
長時間使用しない場合

器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。
(ふろリモコンのスイッチを切っただけでは、約16ワットの電力を消費しております。)

1. 電源スイッチを「切」にする。



2. ガス元栓を閉める



テレコントロールでの自動お湯はりのしかた (GU-16R3Rのみ)

松下通信工業株のVJ501・VJ800Aが必要です。

- ガス元栓、給水元栓を開け、電源スイッチを「入」にしてください。
- テレコントロールにより器具をつける制御をすると「わかりました」「しばらくお待ちください」「給湯機ついています」「機器番号をどうぞ」というようにメッセージされますが実際の給湯機着火・燃焼までに少し時間がかかるため、確実に着火燃焼したことを確認するためには30秒以上経過後再度確認番号を送信してください。
- このとき、ガス元栓・給水元栓の開け忘れや、器具の不具合により着火しなかった場合のメッセージは「給湯機消えています」となります。また器具左側の電源スイッチを入れ忘れていた場合のメッセージは「給湯制御できません」となります。
- 操作方法や詳しいことはテレコントロールシステム取扱説明書をごらんください。

器具の使用法

運転モニターの表示と処置方法

(ふろリモコン)

運 転 モ ニ タ ー		表示内容と処置方法
ランプの表示	ブザー音	
自動お湯はりランプ(緑)点滅 (GU-16R3Rのみ)	8秒間鳴る	自動お湯はり完了です。 自動お湯はリスイッチを「切」にしてください。
自動沸き上げランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	自動沸き上げ完了です。 自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。
ふろ燃焼ランプ(赤)と 自動沸き上げランプ(緑)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)と 連続追いだきランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	ふろの空だきまたは沸かし過ぎです。 自動沸き上げスイッチまたは連続追いだき スイッチを「切」にしてください。 (浴そうの水がなくなったか、沸かし過 ぎて高温になっています。器具が高温 になっていますので、注意して、水を入 れてください。)
給湯燃焼ランプ(赤)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)点滅	連続的に鳴る	ガス元栓が十分開いてないか、ガスがなくな ったときに表示します。ガス元栓を十分 開き2~3回点火操作を繰り返してください。 それでも正常にもどらない場合は器具が故 障していますので、器具左側の電源スイッ チを「切」にし、ガス元栓、給水元栓を閉め、 お求めの販売店に連絡し指示に従ってくだ さい。
(1)給湯燃焼ランプ(赤)と 自動沸き上げランプ(緑)点滅	連続的に鳴る	器具が故障しています。 器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス 元栓・給水元栓を閉めてください。 そして、お求めの販売店に連絡し、指示に 従ってください。 (ただし、浴そうに水がない状態で点火 して空だきをしたときも(4)の運転モニ ターを表示します。 このときは器具が高温になっています ので注意して水を入れてください。)
(2)ふろ燃焼ランプ(赤)と 自動沸き上げランプ(緑)点滅		
(3)ふろ燃焼ランプ(赤)と 連続追いだきランプ(緑)点滅		
(4)全ランプ(赤・緑)点滅		

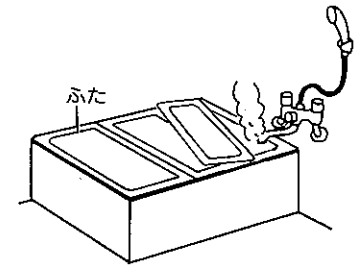
■停電後の使用方法

- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 再通電したときは、6~11ページの「■点火」に従って操作してください。

器具の上手な使い方

■ふろへの給湯・沸き上げは……

- 給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



冬期の凍結による破損防止について

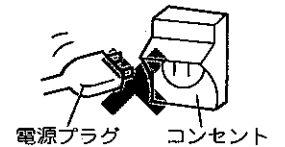
●暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。



- 凍結の危険性は地域により異なりますので、経験により適時凍結防止の処置を行なってください。
- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常をおこす危険性があります。
- 凍結による修理は有料です。

①凍結予防ヒータによる方法

- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒータを組み込んでいます。



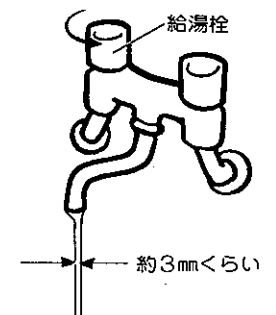
- 凍結予防ヒータは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。

- 凍結予防ヒータは、器具左側の電源スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

[注]外気温が極端に低く(無風時で-15℃以下)になりますと、この凍結予防ヒータだけでは効果ありません。このような場合は、②または③の方法を行なってください。

②給湯栓から水を流す方法

- ガス元栓を閉め、器具左側の電源スイッチを「切」にして、浴室の給湯栓を開け、1分間に約200cc以上(牛乳びん1本くらい)の水を浴そうに流し込んでください。
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。
- 電源プラグは抜かないでください。



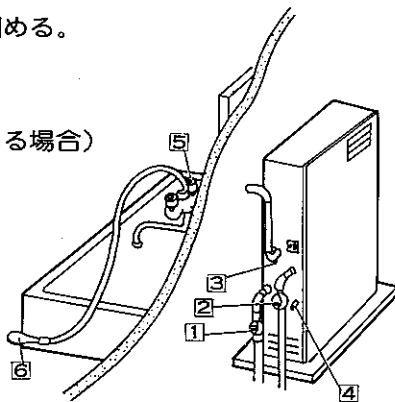
冬期の凍結による破損防止について

③水抜きによる方法

次の順序で行なってください。

- (1) 器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元栓①を閉める。
- (2) 給水元栓②をしっかり閉める。
- (3) 水抜き栓③、④を開ける。(2本)
- (4) 給湯栓⑤またはシャワー栓(シャワーを取り付けている場合)を全部開ける。
- (5) シャワーヘッド⑥を床面まで下げる。

- 給湯栓⑤およびシャワーヘッド⑥と、水抜き栓③、④から水が抜けるのを確認してください。
- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。



〈水抜き後の使用方法〉

- (1) 水抜き栓③、④を元通りしっかり閉める。
- (2) ガス元栓を閉めた状態および器具左側の電源スイッチを「切」にした状態で給水元栓②を開き、給湯栓⑤およびシャワーヘッド⑥から水が出ることを確認したのち、給湯栓⑤を閉めてからお使いください。
- (3) 6ページの「器具の使用方法」に従ってお使いください。

■ご注意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ(器具左側の電源スイッチを「切」にした状態で)、給湯栓⑤を開け、水が出るまで待ってからお使いください。
- ①および②の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。
- 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温を行なってください。

■凍結したとき

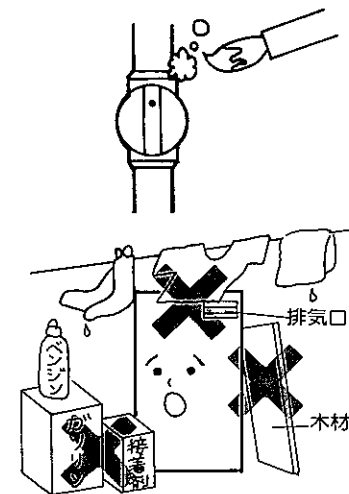
- 凍結した場合、ガス元栓を閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結がとけたあと、水漏れがないことを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元栓とガス元栓を閉め、電源プラグを抜いて、器具が冷えてから行なってください。

■点検

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。)
- 運転中に、器具から異常音が聞こえますか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。
- ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつかまりやすくなります。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガスの元栓を閉めてお求めの販売店に連絡してください。

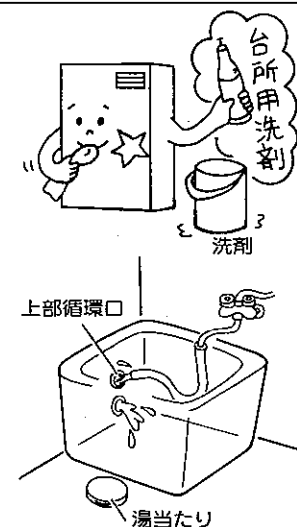


■お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけて、ふき取ってください。シンナー・ベンジンなどでは、ふかないでください。

ふろ用熱交換器のお手入れ

- 上部循環口の湯当たりをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。
(熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。)
(半年に1回程度お手入れを行なってください。)



■定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、定期点検を年に1~2回、お求めの販売店にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止し、十分な点検をしてください。

運転モニターの表示と処置方法については13ページを参照してください。

■故障・異常の見分け方と処置方法について (○=主原因、△原因)

現象	原因											処置方法	参照ページ	お客さま	販売店・ガス会社	
	電源ランプが点灯しない	優先ランプが点灯しない	給湯燃焼ランプが点灯しない	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯がとれない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても燃焼ランプが消えない	ふろを止めても燃焼ランプが点灯しない	ふろが沸かない、または沸きがおそい					ふろ燃焼ランプが点灯しない
電源プラグがはずれている(電源スイッチが「切」になっている)	○	○	○	○							○	電源をコンセントに差し込む(電源スイッチを「入」にする)	6	○		
ガス元栓の開き不十分			△	△	△	○		△	△	△	△	ガス元栓を全開にする	6	○		
配管内に空気が残っている			○	△	△						○	点火操作を繰り返す	6~11	○		
ガス圧が適切でない	低い		△	△	△	△		△	△	△	△	他の器具も同様の場合は点検を依頼する(他に原因がないとき)	-	*		
	高い			△				△								
給水元栓の開き不十分			○	△	△	△	△					給水元栓を全開にする	6	○		
水圧が適切でない	低い			○	△	△	△	○				点検を依頼する(他に原因がないとき)	-	*		
	高い							△								
水ストレーナの詰まり				△	△		△	△				詰まり除去または依頼する	-	○		
断水している			○									給湯使用をいったん中止する	-	○		
凍結している			○									解凍するまで使用を中止する	15	○		
バーナ炎口の詰まり 空気吸込口の詰まり			△	△	△	△				△	△	点検を依頼する	-	*		
熱交換器の目詰まり					△	△				△		点検を依頼する	-	*		
湯温調節が適切でない						○	○	○				「器具の使用法」の「湯温調節」を参照する	8	○		
給湯栓の開き不十分				△			○	△				給湯栓を全開にする	6・8	○		
ノズル詰まり			△	△		○				△	○	点検を依頼する(他に原因がないとき)	-	*		
安全装置が作動	△		○	○							○	点検を依頼する(度々作動する場合)	18	*		
流量センサーの故障			△	△	△	△		△	○			点検・修理・部品交換を依頼する(他に原因がないとき)	-	*		
電気部品の故障	○	○	○	○		△	△	△	○	○	○	点検を依頼する	-	*		
停電	○	○	○	○						○	○	再通電するまで待つ	13	○		
ふろリモコンの優先スイッチが「入」になっている						○						ふろリモコンの優先スイッチを「切」にする	8	○		
浴そう内の湯温が高い										○	○	ふろ運転を「連続追いき」にする。「器具の使用法」の「連続追いき操作のしかた」を参照する	11	○		
漏電安全装置の故障	○	○	○	○							○	点検を依頼する	18	*		

■安全装置の働き

立消え安全装置

バーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

電流ヒューズ

過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

空だき安全装置(ふろ)

排水栓などからの水漏れによりふろが水を空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろがまへのガスを自動的に停止します。この安全装置は自動的に復帰します。

残火安全装置(給湯)

万一、バーナの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。この安全装置は自動的に復帰します。

過圧防止安全装置

器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

過熱防止装置

万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

漏電安全装置

器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグを持って、コンセントから抜き、再度コンセントに差し込んで異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店にご連絡ください。

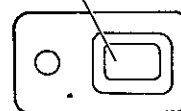
■安全装置が作動したときの処置方法

点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときには、下の方法および17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

また、上記の安全装置が働いた場合には、器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を開めてからお求めの販売店に連絡してください。

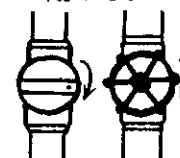
1. 電源スイッチを切る。

電源スイッチ



器具の左側

2. 給水元栓・ガス元栓を閉める。



器具の左側

3. お求めの販売店へ……



連絡

仕様

品名	ガス給湯機付ふろがま	
品番	GU-16R3R	GU-16R4R
種類	給湯方式	先止め式
	設置・給排気方式	屋外用・強制排気式
点火方式	放電点火式	
水圧	使用水圧	0.7kg/cm ² 以上
	作動水圧	0.2kg/cm ²
外形寸法	本体	高さ850mm×幅480mm×奥行227mm
	ふろリモコン	高さ96mm×幅198mm×奥行28mm
重量	本体	31kg
	ふろリモコン	29kg
接続	ガス	LPガス用 15A(P T 1/2)・都市ガス用 20A(P T 3/4)
	給水	15A(P T 1/2)
	給湯	15A(P T 1/2)
電気関係	電源	AC100V 50Hz/60Hz
	消費電力	50Hz157W(最大燃焼時77W+凍結予防ヒータ80W) 50Hz141W(最大燃焼時77W+凍結予防ヒータ64W)
		60Hz168W(最大燃焼時88W+凍結予防ヒータ80W) 60Hz152W(最大燃焼時88W+凍結予防ヒータ64W)
		(リモコンのスイッチ「切」のとき:約16W)
電源コードの長さ	2.0m	
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式	
基準浴そう	容量:200ℓ~300ℓ(1人~2人用)	
安全装置	立消え安全装置・空だき安全装置(ふろ)・残火安全装置(給湯)・過熱防止装置・過圧防止安全装置・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
附属部品	ふろリモコン(一式)・接続ゴム(2コ)・循環パイプ締付バンド(4本)・固定金具(一式)・アース棒	
別販品	排気カバー(GU-P56)・配線ケーブル(GW-P32)・ふろリモコン埋込みボックス(GU-P32)・オプションリモコン(GU-16R3R用…GU-P53・GU-16R4R用…GU-P58)・ソーラ接続セット(GU-P55…GU-16R4R用のみ)	

使用ガス 使用ガスグループ	型式名	1時間当たりのガス消費量				出湯能力(ℓ/分)(水圧:1kg/cm ²)	
		ふろがま	給湯能力		同時使用	能力大	
			大	小(参考値)		水温+25℃ 上 昇	水温+40℃ 上 昇
都市ガス	4 A	8700kcal/h	25400kcal/h	10800kcal/h	30100kcal/h	(13.2)	8.2
	4 B	8800kcal/h	25700kcal/h	10900kcal/h	30500kcal/h	(13.3)	8.3
	4 C	9300kcal/h	27000kcal/h	11400kcal/h	32000kcal/h	(14.0)	8.8
	5 A	9700kcal/h	30100kcal/h	10000kcal/h	36000kcal/h	(15.3)	9.6
	5 A N	10000kcal/h	30100kcal/h	10000kcal/h	36000kcal/h	(15.0)	9.4
	5 B	9600kcal/h	30100kcal/h	9900kcal/h	36000kcal/h	(15.3)	9.6
	5 C	9600kcal/h	30100kcal/h	9900kcal/h	37000kcal/h	(15.3)	9.6
	6 A	10000kcal/h	30100kcal/h	8000kcal/h	39000kcal/h	(16.0)	10.0
	6 B	10000kcal/h	30100kcal/h	9200kcal/h	39000kcal/h	(15.3)	9.6
	6 C	10000kcal/h	30100kcal/h	9200kcal/h	39000kcal/h	(15.3)	9.6
LPガス用	7 C	9600kcal/h	30100kcal/h	9900kcal/h	38000kcal/h	(15.3)	9.6
	1 2 A	9300kcal/h	28000kcal/h	7600kcal/h	36300kcal/h	(14.9)	9.3
	1 3 A	10000kcal/h	30100kcal/h	8200kcal/h	39000kcal/h	(16.0)	10.0
LPガス用	GF-GU-16R3R GF-GU-16R4R	0.83kg/h	2.51kg/h	0.61kg/h	3.25kg/h	(16.0)	10.0

●出湯能力の()内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

長期間使用しない場合

必ず器具左側の電源スイッチを「切」にしガス元栓・給水元栓を閉め、水抜きを行なってください。
(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります。)

アフターサービス

1 保証書 (別に添付してあります)
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間です。

2 修理を依頼されるとき
17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べになったうえで、直らない場合は、明記の処置を行った上でお求めの販売店までご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。
お買い上げの販売店にご依頼にならない場合はお近くの「ご相談窓口」(別紙一覧表参照)にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障又は異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。
販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙一覧表参照)にご連絡ください。

3 補修用性能部品の最低保有期間
ガス給湯ふろがまの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4 ガスの種類の異なる地域へ転居される時
ガスの種類は、LPガス、都市ガス(都市ガスには13種類)があります。ガスの種類が異なる地区へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は保証期間内でありまして有料です。

5 アフターサービス等についてわからないとき
お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙一覧表参照)にお問い合わせください。